

メッセージ4		新しい夫		
I	キリストに関して	キリストは新しい夫です	A	再生された信者は男も女もキリストが彼らの夫です
			B	真のクリスチャンはみな、キリストが夫です
II	古い人に関して	古い人は古い夫です	A-B	二人の夫、古い夫と新しい夫を見る(7:2-4)
			C	信者の二つの身分
			D	わたしたちを律法に対して死なせた
III	古い人に関して	古い人は十字架につけられた	A	啓示:キリストとの結合、結婚
			B-C	経験:主に依存し、主をかしらとする。主をパーソンと命とする
			D	三一の神の名へとバプテスマされる
IV	妻に関して	神に対して実を結ぶ	A	復活の中にいて神に対して生きる
			B	行なうあらゆることが神と関係がある
			C	死と神との間の対比
			D	神を実として生み出す
V	妻に関して	もはや律法の下にいない	A	律法は神を描写し、定義(説明)しています
			B	律法は人に罪を認識させます
			C	人は律法によって暴露されます
VI	妻に関して	霊の新しさの中で主に仕える	A	生活と奉仕のため
			B	命の新しさと霊の新しさ
			C	律法から解放され、そしてキリストに結婚させられている

朝ごとの食物第四週			新しい夫	
日	段落	思路	主題	要点
1	キリストに関して		キリストは新しい夫	わたしたちの造り主である神は、わたしたちの夫です
2				墮落した人は夫になることを願ったので神は律法を与え、律法を破らせ、暴露させました
3	古い人に関して		古い人は十字架につけられた	ローマ 7:2-6 はキリストが新しい夫であることを啓示
4				信者には二つの身分がある
5	妻に関して		神に対して実を結ぶ	キリストに依存し、彼をかしらとし、パーソンとし、命とする
6				もはや律法に生きるのではなく、神に生きる人となる
6	妻に関して		もはや律法の下にいない	死に至る実を結ぶことと、神に対する実を結ぶことの鮮明な対比
7				命を受け、キリストの命に結びつけられたので、律法を守ることなく、律法の義を得ることができる(その霊の実)
8	妻に関して		もはや律法の下にいない	公布された律法の機能(神を描写し定義する、暴露する、服従させる)
9				主はわたしたちの中に入って来て、わたしたちの命となり、わたしたちのためにあらゆる要求を満たされます
10	妻に関して		霊の新しさの中で主に仕える	命の新しさとはみな、霊と関係がある
11				どのように自分の霊を活用し、兄弟姉妹に新しいものを供給するかを学ぶ必要があります

三つの必要

- 第一、キリストを夫する必要がある
- 第二、神に対して実を結ぶ必要がある
- 第三、霊の中で仕える必要がある

メッセージ 4

新しい夫

聖書：ローマ 7:2-6

ローマ 7:2 結婚している女は、夫が活着ている間は、律法によって自分の夫に縛られていますが、もし夫が死ねば、夫に関する律法から解放されます。

ローマ 7:3 ですから、夫が活着ている間に別の男に結び付くなら、彼女は淫婦と呼ばれますが、もし夫が死ねば、彼女はその律法から解かれるので、別の男に結び付いても、淫婦とはなりません。

ローマ 7:4 こういうわけで、わたしの兄弟たちよ、あなたがたもキリストの体を通して、律法に対して死んでいるのです。それは、あなたがたが別の方、すなわち、死人の中から復活させられた方に結び付いて、わたしたちが神に対して実を結ぶためです。

ローマ 7:5 というのは、わたしたちが肉の中にあつた時、律法を通して活動していた罪の激情は、わたしたちの肢体の中で働いて、死に至る実を結ばせていたからです。

ローマ 7:6 しかし、わたしたちは縛られていたものに死んだので、今や律法から解放されました。その結果、わたしたちは文字の古さの中ではなく、霊の新しさの中で仕えているのです。

キリストに関して

キリストは新しい夫です

I. キリストは新しい夫です——ローマ 7:2-6:

- A. 再生された存在として、男の信者も女の信者もキリストが彼らの夫であり、そして彼らは彼の妻の一部です。
- B. 真のクリスチャンはみな、キリストが彼らの夫です。しかし、残念なことに、多くの者は、彼を夫として知っていません。

古い人に関して

わたしたちの古い人は古い夫です

II. わたしたちの古い人、古い夫は、十字架につけられました:

*二人の夫——古い夫、新しい夫

- A. ローマ第7章2節から4節前半は、二人の夫を見せています：
 1. 第一の夫、古い夫は、第6章6節で述べられている古い人であり、キリストと共に十字架につけられました。
 2. 第二の夫、新しい夫は、第7章2節から4節で述べられており、それはキリストです。
- B. わたしたちの古い人、すなわちわたしたちの古い夫は、キリストと共に十字架につけられたので、わたしたちは彼の律法から解放されており、そして新しい夫、すなわち、永遠に活着ている方であるキリストに結合されています。

*信者の二つの身分

——墮落した古い人としての古い身分、再生された新しい人としての新しい身分

- C. 信者として、わたしたちは二つの身分を持っています：
 1. 第一のものは、墮落した古い人としてのわたしたちの古い身分です。この古い人は、神に依存する妻という本来の地位を捨てて、夫またかしらという思い上がった地位を取って、神から独立しています。
 2. 第二のものは、再生された新しい人としてのわたしたちの新しい身分です。この新しい人は、神に対する真の妻としての、わたしたちの本来の正しい地位へと回復されており、神に依存し、神をわたしたちのかしらとしています——イザヤ 54:5. I コリント 11:3。

3. わたしたちはもはや古い夫という身分を持っていません。なぜなら、わたしたちは十字架につけられたからです。
4. わたしたちは今や正しい妻という新しい身分だけを持っています。その中でわたしたちはキリストをわたしたちの夫としています。そしてわたしたちはもはや古い人にしたがって生きるべきではありません。すなわち、もはや古い人をわたしたちの夫とするべきではありません。

***わたしたちを律法に対して死なせました。**

- D. 律法は、古い夫（古い人）のために意図され、古い夫（古い人）に対して与えられたので、古い人の死はまた、キリストの体を通してわたしたちを律法に対して死なせました。

古い人は十字架につけられた——新しい夫(キリスト)と結婚するため

Ⅲ. わたしたちの古い人はキリストの体を通して、律法に対して十字架につけられました。それは、わたしたちが別の夫、すなわち死人の中から復活させられたキリストと結婚するためです——ローマ 7:4 前半:

***キリストと有機的に結合される——新しい夫と結婚する**

- A. この「結合」が示していることは、妻としてのわたしたちの新しい身分において、わたしたちがキリストの復活の中で、パーソン、名前、命、存在において復活のキリストと有機的な結合を持っているということです。今や、わたしたちは新しい夫であるキリストと結婚しています——Ⅱコリント 11:2。

***キリストがわたしたちの夫であるので、彼に依存し、かしらとする必要があります**

- B. キリストはわたしたちの夫ですから、わたしたちは彼に依存し、彼をわたしたちのかしらとしなければなりません——エペソ 5:23 :

***キリストを夫とする意味**

1. キリストをわたしたちの夫とすることの意味は、わたしたちであるすべて、わたしたちが持っているすべて、わたしたちが行なうすべてを終結させて、あらゆることにおいて彼に信頼するということです。
2. キリストをわたしたちの夫とすることの意味はまた、わたしたちがキリストの中へと信じるということです。
3. わたしたちは、もはや自分自身によって生きるべきではなく、キリストによって生きるべきです。わたしたちは、キリストにわたしたちに代わって生きていただくなければなりません。
4. わたしたちはもはや夫ではありません。古い人としてのわたしたちは十字架につけられました。今やキリストがわたしたちの夫です。

***キリストをかしらとし、パーソンとし、命とする**

- C. キリストは、わたしたちのかしらであるだけでなく、わたしたちのパーソンとわたしたちの命でもあります——コロサイ 3:4。

***三一の神の中へとバプテスマされ、別のパーソン、キリストと結婚する**

- D. 一人の人が三一の神の中へと信じてバプテスマされるとき、彼は別のパーソンと関係を持つようになります。すなわち、彼は別のパーソン、キリストと結婚します。

妻に関して

妻として神に対して実を結びます

Ⅳ. 妻として、わたしたちは神に対して実を結びます——ローマ 7:4 後半:

***復活の中において、神に対して生きるとき、神に対して実を結びます**

- A. わたしたちは復活の中において、神に対して生きるとき、神に対して実を結びます。

***わたしたちの行なうあらゆることが、今や神と関係がある**

- B. 再生された人として、妻として、わたしたちは神に対して実を結びます。これが意味することは、わたしたちの行なうあらゆることが、今や神と関係があるということです

す。

*死と神との間の鮮やかな対比

C. ここに、死と神との間の鮮やかな対比があります。

*神に対して実を結ぶ

D. 「神に対して実を結ぶ」という句は、神が実として生み出されることを意味します：

1. こういうわけで、わたしたちであるすべてとわたしたちの行なうすべては、生ける神でなければなりません。
2. わたしたちは神を生み出して、神のあふれ流れとしなければなりません。このようにしてわたしたちは、わたしたちの実としての生ける神を持ち、神に対して実を結ぶようになります。

妻として、もはや律法の下にいません

V. わたしたちは、縛られていた律法に対して死にました。それは、わたしたちが律法から解放されるためです。わたしたちは、妻また新しい人として、もはや律法の下にいません
——ローマ 7:6:

*律法は神を描写し、定義(説明)しています

A. 律法は神を描写し、定義しています——レビ 19:2。

*律法は人に罪を認識させます

B. こういうわけで、律法は墮落した人に対して、多くの要求と規定を持っています。そして、そうすることによって、律法は罪を罪として識別し、人を罪の認識へと導きます——ローマ 3:20. 4:15. 5:20。

*人は律法によって暴露されます

C. このようにして、人は律法によって暴露され、征服されます——3:19。

妻として霊の新しさの中で主に仕える

VI. 妻としてわたしたちはまた、文字の古さの中ではなく、霊の新しさの中で主に仕える
べきです——ローマ 7:6:

*命の新しさは生活のため、霊の新しさは奉仕のため

A. 第6章4節には、命の新しさがあり、それはわたしたちの生活のためです。第7章6節には、霊の新しさがあり、それはわたしたちの奉仕のためです：

1. 命の新しさは、わたしたちがキリストの復活と結合されることからやって来るものであり、わたしたちの日常生活の歩みのためです。
2. 霊の新しさは、わたしたちが律法から解放されて、復活したキリストに結合されることからやって来るものであり、神に対するわたしたちの奉仕のためです。
3. 霊の新しさも命の新しさも、古い人が十字架につけられた結果です。

*命の新しさも霊の新しさも、その霊と関係があります：

B. 命の新しさも霊の新しさも、その霊と関係があります：

1. 命の新しさは、復活の中にあるキリストご自身と関係があり、彼は命を与える霊です——Iコリント 15:45 後半。
2. 「霊の新しさ」という句の中の「霊」は、わたしたちの再生された人の霊を指しており、その中にその霊としての主が住んでいます——IIテモテ 4:22：
 - a. わたしたちは霊の新しさの中で仕えることができます。なぜなら、神はわたしたちの霊を更新してくださったからです。
 - b. わたしたちの再生された霊に関するあらゆることは、新しいです。
 - c. わたしたちの再生された霊は、新しさの源です。なぜなら、主、神の命、聖霊は、わたしたちの再生された霊の中におられるからです。
 - d. わたしたちの再生された霊の中にあるあらゆるものは、新しいです。わたしたちの再生された霊の中には、新しさだけがあります。

まとめ

C. わたしたちが認識する必要のあることは、わたしたちが新しい人として、古い人の律法から解放されており、わたしたちの新しい夫、復活したキリストに結婚させられているということです。それはわたしたちが神に対して実を結び、霊の新しさの中で主に仕えるためです。